

こちら

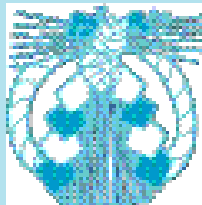
議会広報部

2008.1
第12号

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 12月定例会……………1～3P
- 一般質問、町政転流 ……4～6P
- 新年の抱負……………7P
- その他……………8P



12月定例会

**一般会計補正予算 7億8千42万4千円を減額し
(歳入歳出それぞれ) 総額151億8千970万5千円とする。**

平成19年第4回定例会(12月定例会)が12月10日から21日までの12日間の日程で開かれました。

町長から提出された議案(人事案件2件、一般会計、特別会計、公営企業局事業会計の補正予算9件、条例の制定1件、一部改正9件、広域にかかる一部事務組合等の規約改正等に伴うもの5件、公の施設に係る指定管理者の指定案件1件、工事請負契約関係2件、その他3件の計30件)と議員提案4件(意見書3件、決議1

件)を慎重に審議し、全件原案どおり可決いたしました。

また、一般質問では、5名が登壇し、「大島病院改築に関すること」「下水事業に関すること」「岩国基地再編に関すること」を含む8つの項目について質問がなされた。

さらに、継続審議中の請願、陳情各1件については、引き続き継続審査とすることとし閉会いたしました。

12月定例会

ちびっ子医療費助成事業基金条例の制定

小学校6年生までの医療費無料化

再編交付金を利用し、子育て支援の一助として、町内の“ちびっ子”（小学校1年生～6年生）の医療費助成のため、新たに基金を創設。現状では、約5年間の運用が可能。運用は、平成20年4月1日から開始。

指定管理者（優先交渉権者）決定

ながうらスポーツ滞在型施設等

ながうらスポーツ滞在型施設等の指定管理については、本年8月8日～9月7日公募、以後3回の選定委員会の報告があり、その指定管理者（優先交渉権者）を以下のとおり議決した。

指定管理者：瀬戸内海リゾート(株)

指定の期間：平成20年4月1日～平成23年3月31日

管 理 料：4,620万円（3年間）



▲グリーンスティながうら

諮問・同意案件 2件とも可決

沖村睦峰氏（東三浦）を人権擁護委員、竹本厚三氏（棕野）・田中忠治氏（出井）・松井安雄氏（小伊保田）・山崎正實氏（日前）の4氏を固定資産評価審査委員とすること。

平成19年度 補正予算可決

下表のとおり、9件の補正案を可決した。

会 計	補 正 額	補 正 後 の 総 額
一般会計（第3号）	▲8億2,980万1千円	151億4,032万8千円
一般会計（第4号）	4,937万7千円	151億8,970万5千円
国民健康保険特別会計	6,556万8千円	37億6,945万1千円
介護保険事業 //	665万3千円	30億4,837万3千円
簡易水道事業 //	194万2千円	10億517万9千円
下水道事業 //	▲5万5千円	5億3,594万8千円
農業集落排水事業 //	▲288万9千円	4億4,075万3千円
渡船事業 //	82万2千円	7,854万9千円
公営企業局会計		
収益的収入	▲941万8千円	42億2,250万8千円
支出	▲1,184万円	42億1,316万3千円
資本的収入	▲10億30万円	4億5,660万円
支出	▲9億9,178万7千円	14億4,859万8千円
債務負担行為		
ながうらスポーツ滞在型施設等指定管理料	平成20年度～平成22年度	4,620万円
スクールバス白木線運行業務委託料	平成20年度	1,250万円

条例の一部改正

- ・政治倫理の確立のための周防大島町長の資産等の公開に関する条例
- ・周防大島町一般職の職員の給与に関する条例等
- ・周防大島町国民健康保険税条例
- ・周防大島町簡易水道事業給水条例
- ・周防大島町公共下水道設置及び管理条例
- ・周防大島町農業集落排水処理施設設置及び管理条例
- ・周防大島町漁業集落排水処理施設設置及び管理条例
- ・周防大島町星野哲郎記念館の設置及び管理に関する条例
- ・周防大島町手数料徴収条例

	現 行			
	基本料金	超 過 料 金		
		12 を超え40 以下、1 増	40 を超え60 以下、1 増	60 を超えたとき、1 増
公共下水	1,800円	160円	120円	100円
農業集落排水	1,800円	160円	120円	100円
漁業集落排水	1,800円	160円	120円	100円

その他

- ・分収造林契約の変更
周防大島町林野条例に基づく契約面積、存続期間の変更
- ・公有水面埋め立て
東三浦地区の公有水面（約3,000㎡）を漁港施設用地として埋め立てる
- ・訴訟の提起について
西ヶ原住宅地の町への所有権移転登記手続の請求



各下水の使用料金を改正します

	改 正 後			
	基本料金	超 過 料 金		
		12 を超え40 以下、1 増	40 を超え60 以下、1 増	60 を超えたとき、1 増
公共下水	2,200円	210円	160円	140円
農業集落排水	2,200円	210円	160円	140円
漁業集落排水	2,200円	210円	160円	140円

規約の変更等

市町村合併に伴う規約等の変更

- ・美祢市、美東町及び秋芳町の廃置分合に伴う山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
- ・山口県市町総合事務組合の財産処分
- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更
- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更
- ・山口県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少等について

議員発議 4 件を可決

- ・最低賃金の引き上げを求める意見書
提出者 伊藤秀行、賛成者 魚原満晴、中本博明
- ・保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
提出者 魚原満晴、賛成者 中本博明、伊藤秀行
- ・療養病床の廃止・削減計画の見直しを求める意見書
提出者 魚原満晴、賛成者 伊藤秀行、中本博明
- ・「非核平和都市宣言」に関する決議
提出者 伊藤秀行、賛成者 中本博明、魚原満晴



工事請負契約の締結

2 件を承認可決

工事請負契約

工 事 名	入札執行日	入札社数	落札契約会社	落札金額	落札比率
H19年度 元気な地域づくり交付金事業 石小田地区かんがい排水ポンプ改修工事	12月14日	9 社	(株)山産	7,500万円	63.56%

工事請負変更契約

工 事 名	契約の相手方	契約金額
H19年度 和田（小泊）漁港海岸保全施設整備工事 第2工区	大海建設工業(株)	5,517万7,500円 (原契約 4,284万1,050円)

一 般 質 問

急げ大島病院周辺整備！

神 岡 光 人 議員

問 大島病院の改築移転に伴う周辺の整備、影響について3点程問う。

まず1点目は、建物位置が、道路を挟んで海岸へ移転する事になれば、台風などによる、高波、高潮の被害が予測される。その対策を問う。

2点目は、駐車場が県道を挟んで二分されると聞か、病院へ行って交通事故にあったでは話にならない。交通安全対策はいかに。

3点目は、小松港は笠佐島航路の発着場であり、多くの漁港、遊漁船が係留されて



いるが老朽化も目立つ。今後の整備計画を問う。

答 ①高潮対策として80cm程嵩上げをし、強風に対しては十分な強度を持ったガラスで対応。

②駐車場は、職員とお客様用は県道で分断されているので、現状での対応を考える。

③小松港は、県管理であり、今後の整備計画はないとの回答であるが、現状に応じ、整備の要望をして行く。

要 望 安心、安全に入・通院ができ、職員も安心して患者さん対応ができる職場を願う。事故なく早期の実現を願う。



大島病院建設予定地

子供達を守るのだ！！

田 村 三 郎 議員

問 学校内に侵入した不審者による子供の殺傷事件や登下校時の子供が被害に遭う事故が後を絶たない中、文部科学省が学校保健法を改正し、安全管理の主要目的を

従来の授業時間などの「怪我防止」から通学時も含めた「防犯防災」に転換する方針を固めた事が、最近新聞報道で明らかにされた。本町の学校としても子供達を守るため、既に「見回り隊」等地域と連携をとり合いながら、素晴らしい活動を展開している事は承知している。しかし、学校保健法



が改正されれば、当然ながら、学校ごとに防犯計画を策定せざるを得ない訳であるが、現時点ではどのような具体的対策を立てているか問う。併せて我々議員に対しても出来る対策があれば示して欲しい。

答 現在全ての小学校区に於いて、防犯パトロール隊、子供見守り隊、スクールガード隊など登下校等において、子供達を見守る体制が整い、積極的な活動をしている。「生活安全」に関しては、全小・中学校で不審者の進入時の避難訓練を実施している。更に、全小・中学校に



気を付けて帰りましょう

において安全マップの作成も行われている。議員もそれぞれの立場において、皆が子供を守るという自覚を持ち、積極的な行動が大事。

ここが聞きたい!!

5名が登壇

環境問題に率先垂範する町として!

尾 元 武 議員

問 現在進捗中の公共下水、集落排水事業も順調に進み、残すところ安下庄及び秋地区のみとなったところ。水質汚染等の環境問題への取り組み、また快適な生活環境でより一層文化的に向上した生活を営むためには、下水道、排水設備の完備は欠かせない条件である。裏腹に、現状は人口、世帯数の減少、また受益者負担を原則とする中、やむを得ぬ料金の改正、それ以前に現在の財政を圧迫する膨大な事業費及び維持管理に係わる経費等当面の課題があるのも現実である。そこで環



境問題に率先垂範する町として、定住促進を願う町の受け皿として、また均衡ある町の発展を願う立場として今後進めて行かなければならない主要事業と思われるが、町当局の今後の計画、また方向性を尋ねたい。



完成した沖浦東地区浄化センター

答 今後の計画としては、久賀、棕野地区は久賀処理区として、また小松、屋代、小松開作、三蒲地区は大島処理区、東和の西方、船越、外入地区は三ヶ浦処理区としてそれぞれ集合処理区設定されており、公共下水事業で計画されている。この事業の新規事業採択要件は、1町1事業の原則があり、継続中の工事の進捗状況も含め、新規着工地域を検討している。ご理解を頂きたい。

妊婦無料検診の増大を!

松 井 岑 雄 議員

問 周防大島町に於いて、妊婦健康診断無料券を10回程度発行すべきではないか? 又、里帰り出産される方にも適応し、実施すべきである。



答 周防大島町に於いては、妊婦健康診査無料券は、5回の発行を行う。県内在住の里帰り出産も同様に適応する。

問 現在、小学校3年生までは医療費は無料であるが、中学校3年生までを対象に無料化し、子育て世帯の応援と定住促進策としたら、若者世代により住みやすい町として

評価されるが?

答 小学校3年生までの無料化を当町では実施しているが、更に引き上げて、小学校6年生までの周防大島町に在住する児童について、医療費の無料化を実施する。子育て世帯の応援と定住促進策及び若者世代にも住みやすい周防大島町としたい。



和やかなクリスマス会

一 般 質 問

町民に信頼される町政実現を！

広 田 清 晴 議員

問 9月に行政報告した図書司書の合理化計画は図書館法等の後退。再考を求める。

答 財政は厳しいが、図書館としての機能を果たす。

問 町民の生活実態は不公平税制、合併等大変な状況認識を問う。(答弁を右の表にしました。)

問 乳幼児医療費助成年齢枠の拡大の財源は米軍再編交付金に頼らず一般財源で可能。

答 財務省原案で主張されていると考えるが人口減の影響で交付税の増額は見込めない。

要 請 米軍再編交付金申請はあくまで慎



重な対応を求めたが、申請を前提にした補正予算を最終日提案、可決された。

その他病院建設は行政として説明責任を果たすよう要請した。

◎引上げ額

	世帯あたり (円)	1人あたり (円)	影響人数 (人)
国 保 税	20,000	13,000	13,179
町 民 税		4,200	14,000
水道料金	2,040		18,564
介護保険		220	9,684

注1 水道料金は世帯平均で17使用の場合

注2 介護保険は1号被保険者

町政転流 (7)

安心安全への苦渋の選択！

12月定例議会最終日、平成19年度周防大島町一般会計補正予算（第4号）他3件の追加議案が上程された。今回の追加議案で平成19年度周防大島町一般会計補正予算（第4号）と周防大島町ちびっ子医療費助成事業基金条例の2議案は、米軍岩国基地再編に伴う交付金の補正予算とそれに関連する条例制定であるため、総務文教常任委員会への付託審査とされた。基金条例制定の所管は総務文教常任委員会であるが、内容は医療費助成である観点から民生常任委員長の申し出により、総務・民生両委員会による連合審査を行った。

審査では、これまで繰り返し協議された中国四国防衛局との内容の確認、不測の事態が発生した場合は国に対し強く要望するという執行部の方針確認等々の

質問、また時期尚早ではないかとの意見もあった。

委員会採決では、採決権のある総務文教常任委員会において全員賛成で可決された。その後、本会議で質疑・討論（反対討論2名、賛成討論3名）・採決が行われ、賛成21名、反対2名で可決された。

本町議会は、基地再編に対し反対の立場を維持しているが、国の閣議決定或いは議員全員協議会の場における「交付金受取を拒否されても、再編は不退転の決意で進めてまいります」という中国四国防衛局長の弁の前に、一地方自治体としては苦渋の選択であったと言えよう。7年後には再編がほぼ終了という中、今後12年間で総額16億円の交付金の使途や安心・安全のしまづくり施策を住民・議会・執行部が一体となって構築していく必要がある。





2008年 子年・新年の抱負



魅力ある町に

議長 新山 玄雄

新年明けましておめでとうございます。昨年は、私たちの永年の懸案だった事業が次々に完成した年でした。

今年は、災害時の防災拠点となる防災センター、老朽化した大島病院の改築などの取り組みも始まっています。それらの大きなプロジェクトを推進する上

で、大切なのは行財政の健全化をはかり、効率のよいスリムな行政を実現することです。町議会はその改革の先頭に立っています。例えば議員定数を現行26から20とする改革案を議員提案し、可決しました。議員自らが身を削って改革を行うことの姿勢と覚悟こそ今、求められているものと思います。都市と地方の格差は広がり、地域間競争は激化しています。今年も住民の皆様、町執行部と議会が力を合わせて、魅力ある町づくりを推進したいものです。



副議長 久保 雅己

合併して3年を経過、初心を忘れず、大道を歩みます。

総務文教常任委員会



●委員長 伊藤 秀行

今年こそ運動を始めて健康管理に気をつけ有意義な年にしたい。

●副委員長 尾元 武

「一日一生」日々新たな年。激動の時代遅れる事なく住民の立場で！

●委員 土手 正喜

地方分権に地方の意見を反映させる住民と行政の協議による町づくりの年に！

● " 平野 和生

美しい海岸と山野の復活を目ざして！

● " 杉山 藤雄

「さまざまな格差」について勉強し、解決に努力する。

● " 木村 潔

子年は12支始まりの年。初心に還り、情報収集と開示に努めます。

● " 平川 敏郎

人に勝つより自分に勝て。

● " 久保 雅己・新山 玄雄

●委員長 魚原 満晴

「初志貫徹」志を新たに、本年も一生懸命頑張ります。

●副委員長 魚谷 洋一

今年も全力投球です。

●委員 安本 貞敏

千支以上に元気良く、コマメな地域活動に頑張りたいと思っています。

● " 荒川 政義

私が生れ育った島、これからも住み続ける島を夢が持てる島にしたい。

● " 松井 岑雄

友情を大切に！！ 友情こそ平和の第一歩であり、人間主義である！

● " 広田 清晴

密室議論は町民の信頼が得られません。開かれた議会へ全力をあげます。

● " 富田 安英

今年は子の年、年男、気分一新、なにごとにも積極的に取り組みます。

● " 小田 貞利

地域格差のない公平な行政サービスが受けられるよう努力します。

民生常任委員会



建設環境常任委員会



●委員長 中本 博明

町民の皆さんが安心して暮せる静かな町づくりをめざします。

●副委員長 田中 隆太郎

初心にかえってガンバル！

●委員 伊東 梅芳

一つの道理を以て万事を貫く。

● " 浜戸 信充

「立つ鳥、あとを濁さず」の精神で頑張りたい。

● " 神岡 光人

住民の声を声とし、心を心とし、住民の幸福を念とする。

● " 田村 三郎

元気、にこにこ、安心のある町づくりに近づく為の努力を惜しまず。

● " 平村 真成

「笑顔があれば住みたくなる町」そんな町づくりに努力する。

行政視察

民生常任委員会

視察地

※岡山県勝田郡奈義町
『子育て支援事業』

※神戸市
『人と防災未来センター』

10月22日
～23日

岡山県勝田郡奈義町の「子育て支援事業」の取り組みと、神戸市「人と防災未来センター」を視察研修した。

奈義町では、合併の是非について住民投票を実施し、合併せず独自の町づくりを進めている。人口は6,600人で、旧大島町並の規模であるが、厳しい財政の中、福祉施策は後退させないとのモットーの元、出産祝い金交付事業・高等学校等就学支援金・乳幼児医療費助成・妊婦健康審査公費負担枠の拡大・保育料軽減対策・子育てサポートを活用してのチャイルドホーム・町営分譲住宅の造成等、高水準での支援事業がなされていた。本町も厳しい財政の中、同様な事業を行っているが、今後の周防大島町の担い手である若者定住促進のための事業推進の必要性を痛感するものであった。

「人と防災未来センター」では、阪神淡路大震災の地震破壊のすさまじさや、震災直後の町並みを体感することができた。

被災者の体験談や、復旧・復興に向かう人々のドキュメントドラマを視聴体験したことにより、地震や台風などの自然災害に備え、地域住民、特に高齢者、障害者、子供等社会における弱者に配慮した防災対策や、防災体制の早急な確立、災害に強い安全なまちづくりの必要性を再認識した。



議員派遣

行事内容	日程	開催地	参加議員
東京久賀倶楽部	1月20日	東京都	平川敏郎
関西橘町人会	2月3日	大阪市	杉山藤雄、中本博明

陳情・要望

- 上関原発「建設反対請願書」
提出者 上関町民の会（継続審査）
- 上関原発「促進の陳情・要望書」
提出者 促進商工団体協議会（継続審査）

総務文教常任委員会

視察地

※福岡県朝倉市
体験交流施設『たかき清流館』

※佐賀県玄海町
玄海原子力発電所『玄海エネルギーパーク』

10月11日
～12日

今回の研修は、廃校舎を利用した体験交流施設「たかき清流館」と九州電力玄海原子力発電所紹介施設「玄海エネルギーパーク」の2施設を研修した。

「たかき清流館」では、本研修会の主目的である廃校跡地の利活用について、廃校をどのように活用するかは、地元がどのように係わるか、町が地元の要望をどのように反映するかで、本当の地元の施設として活用されるかが決まるということである。など大変参考になった。又「玄海エネルギーパーク」は、原子力発電所の仕組について展示、説明している施設です。原子力の安全性については、各委員とも特に強い関心を持っており、色々な質問が出され、予定時間がオーバーする事態となり、「九州ふるさと館」と「観賞用温室」の視察は見送る運びとなりました。今回の貴重な研修を参考にし、今後の議員活動に活かしてまいります。



編集後記

引き続き頑張ります！

昨年末12月23日、大島一周駅伝・中学校男子駅伝及び女子大島駅伝競争大会に母校と各チームの応援に出かけた。中学男子・女子それぞれのスタートを見、ゴールまで観戦したが、男女とも参加チームが少なくなった事に淋しさを感じる。理由は、昨今の駅伝ブームかもしれない。昔はこの近辺で駅伝といえば大島というイメージだったが、近年は大会数も増加し、選択肢の増加が大島の減少になっているのかも知れない。

少子化もその一因であろう。中学男子は3年前から一周駅伝ではなく、女子と同じ6区間となった。地元を走らなくなった地区は少し淋しく、地元中学校の優勝は絶えて久しい。それでも中学男子一区での、油田中学校・岡元海人君の区間賞には拍手喝采である。



委員長 尾元 武	委員 伊藤 秀行
副委員長 魚谷 洋一	委員 木村 潔
委員 平野 和生	委員 小田 貞利

周防大島町ホームページ <http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館へは議事録を備えています。